

幸手市



洪水

ハザードマップ

洪水ハザードマップについて

洪水ハザードマップとは、洪水・はん濫に関する情報と避難方法などを市民の皆様へ提供することにより、日頃からの防災意識を高めるとともに、いざという時に安全かつスムーズな避難行動につなげ、被害を最小限にすることを目的とした地図です。大雨によって河川がはん濫した場合には浸水する範囲や深さを予想した浸水情報、はん濫時の避難場所、水害に対する知識や心得など、浸水が想定される区域からの市民の安全な避難に必要なとなる各種の情報をわかりやすく表示しています。



幸手市マスコットキャラクター さっちゃん

市のホームページから、浸水深表示や拡大縮小・情報表示が自在なweb版洪水ハザードマップも確認できます。

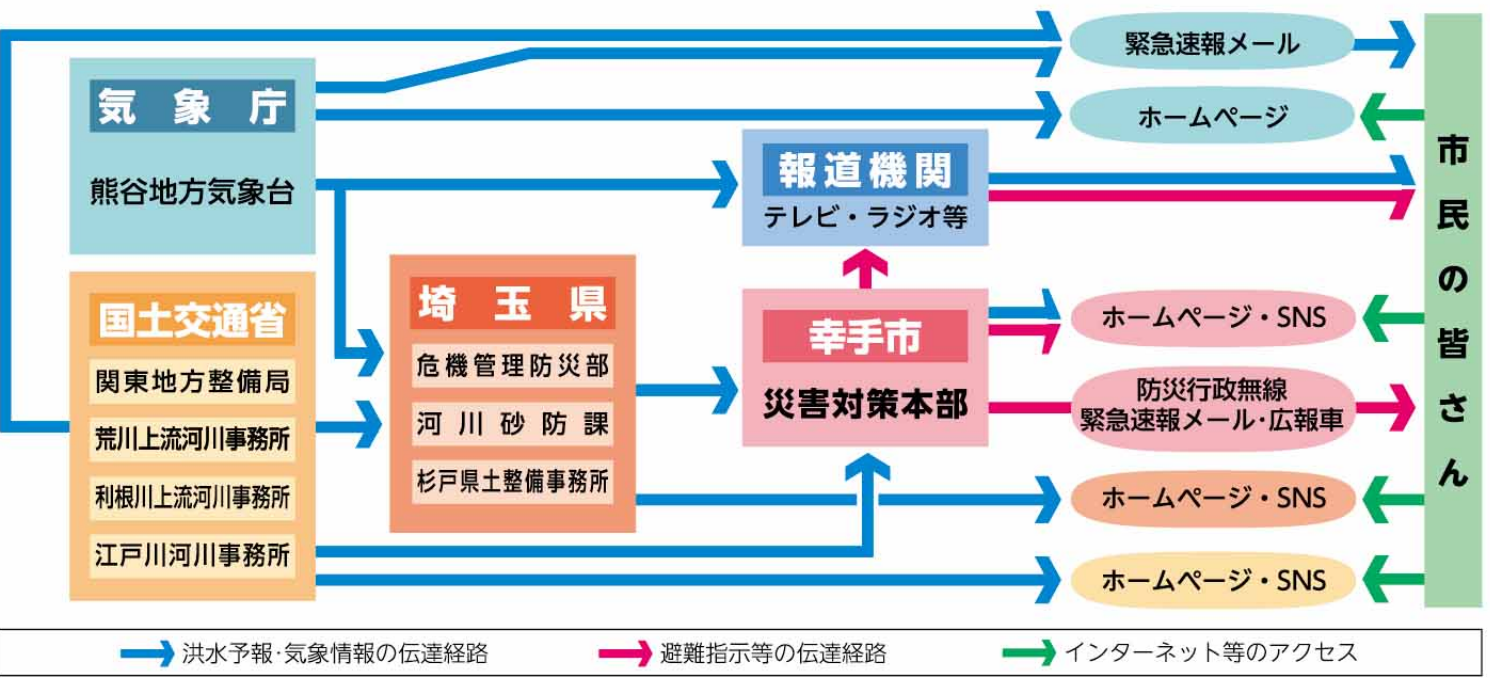


発行：令和4年3月
企画・制作：危機管理防災課 〒340-0192 幸手市東4-6-8
電話 0480-43-1111(代) FAX 0480-43-6033 E-mail:bousai@city.satte.lg.jp
印刷：(株)中央ジオマックス

避難情報などの伝達

幸手市には気象庁から発表される気象情報と、国土交通省や埼玉県から発表される河川情報等が伝達されます。幸手市ではそれらを総合的に判断し、市民の皆さんや関係機関に情報を伝達します。

情報の伝達経路



情報はこちらで入手

- ホームページ**
 - 幸手市
 - 気象庁
 - 埼玉県 川の防災情報 (水防情報システム)
 - 国土交通省 川の防災情報
 - 国土交通省 利根川上流河川事務所
 - 国土交通省 荒川上流河川事務所
 - 国土交通省 利根川上流河川事務所
 - 国土交通省 荒川上流河川事務所
- 電子メール等**
 - 埼玉県 防災情報メール
 - 埼玉県 川の防災情報メール
 - 幸手市 防災・防犯情報のメール配信サービス
 - Yahoo!防災速報
- 防災行政無線 (テレフォンサービス)**
 - 防災行政無線で放送した内容を右記の電話番号で確認ができます。 電話番号 0800-800-3541 (通話無料)
- テレビのデータ放送サービス**
 - さまざまな防災情報を確認できます。テレビのチャンネルをNHKやテレビ玉に合わせ、リモコンの「dボタン」を押してください。

避難情報について

水害から身を守るために、気象情報や洪水情報を入力しましょう。幸手市ではこれらの情報や雨の降り方などから総合的に判断し、避難に関する情報を発表します。自らの命は自ら守る意識をもって、適切な避難行動をとってください。

水害時に入手する情報

避難情報とは
避難の準備や開始のタイミングの目安となる情報です。幸手市が発表します。市のホームページや防災行政無線などで確認し、また、テレビやラジオ等の情報は、幸手市だけでなく、より広範囲な情報になります。

河川水位や雨の情報とは
避難行動や移動の判断の目安となる河川水位の情報です。国、都道府県及び気象庁より情報が提供されます。気象庁から発表される台風や大雨に関する情報は、テレビやホームページなどから新しく情報を入手するようにしましょう。

避難情報等 (警戒レベル)

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等
5	災害発生又は切迫	すでに災害が発生しています。いのちを守るための最善の行動をとってください。	緊急安全確保
4	災害のおそれ高い	●安全な避難場所が確保できなくなっている可能性があります。 ●避難の準備を急いでください。 ●避難場所へ避難してください。	避難指示
3	災害のおそれあり	●避難場所が確保できなくなっている可能性があります。 ●避難の準備を急いでください。 ●避難場所へ避難してください。	高齢者等避難
2	気象状況悪化	●大雨・洪水注意情報	大雨・洪水注意情報
1	気象状況悪化の恐れあり	●大雨・洪水注意情報	大雨・洪水注意情報

河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)

河川名称	利根川(幸手)	荒川(幸手)	中川(幸手)	中川(幸手)
はん濫危険水位	8.80m	8.70m	5.5m	6.25m
はん濫警戒水位	6.90m	7.90m	5.0m	—
はん濫注意水位	5.0m	6.10m	3.5m	5.8m
水防団待機水位	2.70m	4.50m	3.0m	5.20m

雨の降り方と雨量の関係

降っている雨を観察することで、だいたいの雨量を知ることができます。危険な状態になる前に自分で判断して避難ができるよう、雨の降り方と雨量の関係を知っておきましょう。

予報用語	雨量	イメージ	人への影響	屋内(水浸しの場合)	車に
やや強い雨	10~20mm未満	傘をさして歩く	傘をさして歩く	地面一面に水たまりができる	ほとんど影響なし
強い雨	20~30mm未満	傘をさして歩く	傘をさして歩く	地面一面に水たまりができる	ワイパーを速くしても見づらい
激しい雨	30~50mm未満	傘をさして歩く	傘をさして歩く	地面一面に水たまりができる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる
非常に激しい雨	50~80mm未満	傘をさして歩く	傘をさして歩く	地面一面に水たまりができる	車の運転は危険
猛烈な雨	80mm以上	傘をさして歩く	傘をさして歩く	地面一面に水たまりができる	車の運転は危険

わが家の防災メモ

わが家の避難場所
わが家の集合場所
家族の連絡先
親戚の連絡先

災害時の連絡方法

NTT 災害用伝言ダイヤル(171)
電話を利用して情報を確認する「声の伝言版」です。

NTT 災害用伝言板(web171)
インターネットを利用して情報を確認する「文字の伝言版」です。

携帯電話・スマートフォンの災害用伝言板
携帯電話各社の携帯電話から伝言を文字入力できます。伝言の確認はインターネットでも可能です。右の二次元コードから各社の伝言版にアクセスできます。

災害に備える食料・物資

備蓄品
備蓄品は、電気・ガス・水道などのライフラインが復旧するまで自給自足に必要な物資です。最低でも3日間(推奨1週間)必要な食料・物資を用意しましょう。

飲料水・生活用品

- 飲料水 (1人×3日×30)
- 水筒 (1人×1個)
- 生活用品の確保・風呂水の溜め置きなど
- 衣類・衛生用品
- 紙おむつ
- ロープ
- ヘルメット
- レインコート
- スニーカー

非常用持出品
非常用持出品は、災害発生直後から1日間をのむために最低限必要なものです。上記の備蓄品などのほか、現金、通帳・印鑑、本人確認書類(健康保険証・免許証など)など、必要なものをすくずに持ち出せるようにしておきましょう。

避難時の注意

はん濫は早期の「立退き避難」が基本
洪水の危険が迫り、避難の呼びかけがあった場合や、身の危険を感じた場合には、すぐに避難場所へ移動します(立退き避難)。

安全な避難先の確保(分散避難)
「立退き避難」の避難先は、市が指定する避難場所だけではなくありません。安全な場所にある親戚・知人やホテルなどでも避難先として考えられます。複数の避難先を検討しましょう。

外出が危険なら「屋内安全確保」
悪天候で避難場所への移動が危険な場合や、「立退き避難」を行う余裕がない場合は、屋内でも安全な場所へ移動します(屋内安全確保)。

単独での行動は避けましょう
避難するときは、できるだけ単独での行動は避けましょう。ご近所にも声をかけ協力して、お年寄りや子ども、病気の人の避難に協力しましょう。

浸水時の避難は危険です
浸水箇所の水は茶色く濁っており、側溝やマンホールのふたがはずれていても気づきません。また、人が歩ける水の深さは、男性で70cm・女性で50cmが限度とされています。やむを得ず浸水箇所を歩く場合は、長い棒を杖代わりにして足下を確認しましょう。

日頃からの心がけ

台風や集中豪雨はある程度予測できる災害です。情報を入手し、しっかりした準備をしておきましょう。

風水害に備えておくべきこと

建物などの事前準備

- アンテナや煙突などの補修をする。
- 手を取り込み、ベランダなどの小物を全て取り込む。
- 雨樋の掃除をする。
- 古い戸は、飛ばされないように筋交いを付けたリ、つっかい棒をあてがったりして、応急の補修をする。
- 家の周囲にある風に飛ばされそうな物を取り込む。

家族の準備

- 懐中電灯や携帯ラジオ及び予備の電池などを準備する。
- 生活用水を貯めおく(飲料水は一人一日3リットルが目安)。
- 非常用持出品を準備する。(地震対策として日頃からの準備が大切です)。
- 浸水の危険がある場合には、大切な家具・食料は二階や高い安全な場所へ移動する。
- 避難場所の位置や避難経路を確認しておく。
- 家族で話し合っておく「マイ・タイムライン」を作成する。
- ※外出している家族が、交通機関のマヒなどで帰宅できない場合もあります。離れ離れになってしまった場合に備え、連絡方法や避難場所は日頃から十分話し合っておきましょう。

各家庭で備えましょう

簡単な土のうの作り方
水深が利用段階なら、家庭にあるごみ袋、レジャーシート、ブランケットなどを活用した応急処置で対処が可能です。

【ごみ袋を利用】
大きめのごみ袋などを二重にし、中に半分程度の水(ふらの残り水などが便利)を入れ、すき間なく並べます。段ボールに入れて連結すると、強度が増し、積み重ねることもできます。

【シートを利用】
シートを利用し、土を入れたプランターを横に並べ、レジャーシートを巻き込んで補強します。プランターの代わりに入れたポリタンクや重くしたビールケースなども利用できます。

【排水口からの逆流防止】
水のうを風呂場や洗濯機の排水口の上に、トイレの便器の水たまりの上に置きます。

浸水シミュレーション

浸水シミュレーションは、堤防の破壊によってどのような浸水被害がもたらされるかを想定したものです。

利根川【河口から129.0km 右岸 / 茨城県猿島郡五霞町川妻付近】

江戸川【河口から58.0km 右岸 / 埼玉県幸手市西関宮付近】

荒川【河口から65.2km 左岸 / 埼玉県鴻巣市小谷付近】

倉松川【河口から13.4km 右岸 / 埼玉県幸手市南3丁目付近】

中川【河口から80.6km 左岸 / 埼玉県羽生市東7丁目付近】

浸水シミュレーションは、堤防の破壊によってどのような浸水被害がもたらされるかを想定したものです。

マイ・タイムライン

マイ・タイムラインとは、水害時にとるべき避難行動をあらかじめ考えておくことです。家族で話し合いながら、マイ・タイムラインシート(別紙)に自分と家族の避難行動を書き込んでください。

マイ・タイムラインとは

マイ・タイムライン(あなたと家族のための避難予定表)とは、大雨や台風接近などにより、水害の危険性が高まっているときに、自分自身が取る行動(時間・時間・時間)に沿って整理したものです。いざというときに慌てないために、書き込んでおきましょう!

【一般的な世帯の場合の事例】

3日前(台風発生)	2日前	1日前	当日(台風接近)	0時間前
台風情報 警戒レベル1	大雨情報 警戒レベル2	大雨情報 警戒レベル3	高齢者等避難 警戒レベル4	避難指示 警戒レベル5

幸手家のマイタイムライン

家族構成	家族名	年齢	性別	備考
夫	幸手幸太	45	男	
妻	幸手幸史	40	女	
犬	ポチ	10	男	
孫	幸手幸江	40	女	
孫	幸手美香	5	女	

事前しておくことリスト

- 家具の補修
- 雨戸等の補修
- 高齢者に連絡(今後に注意)
- ペットホテルの予約(予約の可能性)

避難するタイミングを記入しよう

- 避難開始(警戒レベル3)
- 高齢者に声をかけ、家族でかみかけ避難開始
- 道路浸水が発生している箇所は避けて避難する

避難先を記入しておく(複数の場所を想定しておく)

- 警戒レベル4まで全員をかみかけ避難開始
- お年寄りや病気の人は、避難先(避難先)へ

逃げ遅れた場合の命を守るための行動を記入しておく

- 少しでも高い所へ避難する

【我が家の避難シート】

- 避難場所(避難先)を記入する
- 避難開始(警戒レベル3)が発令されたら(おじいちゃんに避難)する

マイ・タイムラインのポイント

防災知識の習得
マイ・タイムラインを作成することで、気象情報や避難情報の意味、避難に必要な情報の入手方法、河川のはん濫に関する知識などが習得できます。

マイ・タイムラインの作成方法
マイ・タイムラインシートには、自宅や避難先の場所、避難を始めるタイミングなどを記入します。すべて書き込むことで、個人や地域の実情に沿った、オリジナルの避難行動ガイドが完成します。

家族みんなで話し合いながら、マイ・タイムラインを作成しましょう!